

第5学年〇組 国語（書写）科学習指導案

令和2年5月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 文字の組み立て方（中と外）

2 単元目標

- (1) 「しんによう」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書く。
- (2) 字形を整えるための筆使いや組み立て方について、自分の考えをもつ。
- (3) 文字の組み立て方に気を付けて書こうとする。

3 学習の計画 （3時間完了）

第1時 中と外の組み立て方に気を付けて、「道」を書く。

第2時（本時） 組み立て方に気を付けながら、字形を整えて「道」をまとめ書きする。

第3時 中と外の組み立て方から成る文字を、硬筆で書く。

4 本時の学習指導

(1) 目 標

- 「しんによう」の筆使いや組み立て方に気を付けながら、字形を整えて書くことができる。
- 筆使いや中と外の組み立て方に気を付けて書こうとする。

(2) 準備・資料

- 児童……毛筆書写の道具、新聞紙（作品入れ）、ペットボトル 500ml（筆洗い用）
- 教師……提示用手本、ワークシート（手本に中と外の部分をそれぞれ色分けしたシートを重ねられるもの）、バケツ、書道半紙

(3) 関 連

4年 書写 文字の組み立て方（上下）（上下の組み立て方の文字の幅や形を理解する）

5年 書写 文字の組み立て方（中と外）（中と外の組み立て方の文字の幅や形を理解する）

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかむ	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 前時の学習を想起し、自身の課題について考える。</p> <p>(2) 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「しんによう」の筆使いや組み立て方に気を付けて、まとめ書きをしよう。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に道具の準備をさせておく。 ○前時のまとめ書きと教科書とを比較して、自分の課題について確認する。 ○数名を指名し、発表させる。 ○中の部分（首）と外の部分（しんによう）との組み立て方や、「しんによう」の筆使いに気を付けて書くことを確認する。
練習する	<p>2 「道」を練習する。</p> <p>(1) 「道」を試し書きして、重点的に練習すべき点を押さえる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○隣席児童とも確認し合うようにする。 ○ワークシートを使って中の部分と外の部分を色分けして示すことにより、点画の変化や組み立て方を視覚的に捉えやすくする。 ○教科書 P. 13 を参考にし、「しんによう」の

練習する	(2) 部分練習をする。 ・「しんにょう」 ・自分の課題箇所		筆使いや中の部分と外の部分の位置関係などを確認させる。 ○机間指導をし、個別に支援する。 ○中の部分が外の部分からはみ出さないように書くこと、「しんにょう」の二画目から三画目は、筆を一度離してから少し重ねて書き始めることなどを押さえる。 ○部分練習で気を付けたことを留意しながら、全体のバランスに気を付けて練習させる。
	(3) 練習のまとめをする。		
	3 「道」をまとめ書きする。	35	評組み立て方や「しんにょう」の筆使いに気を付けて書こうとしている。(練習・作品) ○練習した作品を再度見直し、注意すべき点を十分に意識させてから書かせる。
まとめる	4 本時のまとめをする。		評組み立てのバランスや穂先の動きを意識しながら、字形を整えて書いている。(作品)
	(1) 本時の学習を振り返り、自己評価・隣席児童との相互評価をする。 (2) 次時の課題を確認する。	40 45	○手本、試し書き、まとめ書きを比べ、上達したところを互いに見つけさせる。 ○教科書P.13「ふり返ろう」に記入させる。 ○道具の片付けを手際よくさせる。 ○次時は、毛筆で学習したことを生かして硬筆を練習することを伝える。

(5) 本時の評価規準

- 中の部分と外の部分との位置関係のバランスや、「しんにょう」の筆使いを意識して、字形を整えて書いている。(作品)
- 中と外の組み立て方や、穂先の動きと筆圧に気を付けながら書こうとしている。(練習・作品)

5 備 考

(1) 学級の実態

- 毛筆の扱いに慣れている児童と、慣れていない児童との差が大きい。どの児童も教材文字を進んで書くことはできるが、文字の組み立てや幅・点画の変化などに気を付けて書くことはあまりできていない。

(2) 指導の力点

- 教材を試し書きした後、手本と比べたり中と外の部分を色分けしたワークシートで組み立て方の変化や特徴を確認させたりすることで、自身の課題を明確化させ、学習意欲を高められるようにする。

6 指導と評価